



### 喝破五訓

- 一、よろこんで与える人間となろう
- 一、いのちを大切に作る人間となろう
- 一、心静かに考える人間となろう
- 一、使命に生きる人間となろう
- 一、規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

発行 公益財団法人 喝破道場 社会福祉法人 四恩の里 宗教法人 報四恩精舎 発行者 野田 大燈  
 住所 〒761-8004 高松市中山町1501番地9 TEL 087-882-4022 FAX 087-881-5906 一部100円  
 E-mail kappa@kappa.or.jp URL http://www.kappa.or.jp 郵便振替口座 徳島 01630-6-9731

## 巻頭言

### 継続が信頼に

亀山学園の夏祭り



亀山学園の夏祭り

### 暑中お見舞い申し上げます

七月十六日土曜日は夕刻六時より  
 亀山学園の夏祭りでした。

決して広いとは言えない園庭を  
 一杯活用して運動場を囲むように来  
 賓席や茶席そして射的場などのテン  
 トが設営されており、幾日も以前か  
 ら園生・職員が汗を流しながら準備  
 したそのご苦労がよく窥えました。  
 前日に亀山の園長さんから「岡田  
 監督さんからも大きなスイカが  
 十個も届きました」との嬉しい報告  
 がありました。

何かと多様な岡田監督が学園の夏

祭りを気に留めていて下さり手配を  
 して下さったのでしよう。

開会式の挨拶の中で、岡田監督が  
 子ども達の為にスイカをお贈り下  
 さった、と話すに参加して下さって  
 いた多くの方から大きな拍手が起  
 りました。

一番喜んだのはプレゼントされた  
 子ども達でしょうが、贈られたこと  
 を我が事のように喜んだのが職員と  
 地域の方々でした。

今年地元県議・市議、そして小  
 中学校長や地元の御世話役の方々も  
 ご参加下さり、狭い園庭が人で溢れ  
 ていました。

当初予定したより多くの方がお越  
 し下さった為に受付が混乱し、配布  
 用のチケットが足りなくなると言う  
 予想外のハプニングが起きました。

フランクフルトやアイスクリー  
 ム・綿菓子・ポップコーンなどは職  
 員が担当して悪戦苦闘してしました  
 が、最も人気があったのは地元老人  
 会が担当する「さぬきうどん」で、  
 最初から最後まで長蛇の列を成して  
 いました。

私も「うどん券」を握りしめて列  
 に並んでいましたが、知人に声を掛  
 けられる度に列から離れるので中々  
 にうどんにありつけませんでした

四恩の里のモットーはその原点で  
 ある禅寺「報四恩精舎」の名称に込  
 められています。即ち「四恩に報い  
 る」と言う事です。

若竹学園が開園して数年後に、法  
 人役員のAさんが和太鼓をご寄進下

さいました。

そこで「施設は慰問してもらおうの  
 が当然」と言う風潮があるようだが、  
 私たち学園は施設を応援して下  
 さっている方達にお礼の意味で太鼓  
 演奏を聴いて頂く」と言う事にな  
 りました。

当時の学園は消極的な不登校児童  
 が大半でしたが、和太鼓演奏の練習  
 を通して元気を取り戻し、高齢者施  
 設の慰問でおいちゃん・おばあ  
 ちゃんが見て涙を流して喜んでくれた様  
 子を見て感激し、その後は和太鼓に  
 参加できない園生はお抹茶を点てた  
 り、山林で拾ったクルミの実を磨い  
 て「健康クルミ」としてプレゼント  
 したりしていました。

「して頂く」より「して差し上げ  
 る」事の方が嬉しいことを学んだの  
 です。

現在、その本体である喝破道場は  
 恒例の月見茶会が本年度で三十三回  
 であり、若竹学園の夏祭り、そして  
 亀山学園の夏祭りとは四恩グループは  
 社会に開かれ奉仕する法人でありたい  
 と願っています。

大燈記

### 暑中お見舞い申し上げます

公益財団法人 喝破道場

理事長 野田 大燈

他理事・評議員一同

「若者自立塾」

塾長 野田 大燈

副塾長 佐藤 大宣

塾生 一同

# 若竹者白立塾生(ハハ十一)

夏真っ盛り

## 学園の夏祭り

7月2日、若竹学園の夏祭りに塾生みんなで参加させていただきました。出店は焼きそばやフランクフルト、たい焼き等あり、喝破道場も昨年からハーブ喫茶ゼルコバを出張出店させてもらっています。出店メニューは、ハーブティーと手作りスイートポテトです。



大人気のスウィートポテト

塾生の皆に交代で店頭に立ち接客してもらいました。スイートポテトは子供たちや大人にも大人気で、美味しい美味しいと大喜びで食べてい

ました。

接客をしていない塾生は出店を回りお腹一杯いただきました。

また、7月16日は亀山学園の夏祭りにも招待していただきました。

亀山学園は丸亀市にあり道場から車で40分と遠いことから、あまり交流がなく訪れたことがない者が大半でしたので皆わくわくしながら道場を出発しました。

お祭りは多くの人で賑わっていました。さつそく戴いた食べ物のお店を回りました。地区の老人会の方々が手打ちうどんを振る舞っていたり、アイスクリームやフライドポテト、射的等沢山の出店がありました。手打ちうどんは予想以上の来客者で玉切れになったようです。また、祭りには小学生が活躍した郡家太鼓や小さな子供も参加していた



うどんには長蛇の列が・・・



沖縄のエイサーを披露

沖縄の伝統芸能エイサーを披露する等様々なイベントがあり、祭りの最後は盆踊りに参加者全員で踊り、大盛り上がりで夏祭りが終わりました。祭りの帰り道は温泉に寄り汗を流して帰ってきました。塾生の皆は毎月発行される亀山便りを見て活動を知っていますが、今回は実際に現地に赴き学園の雰囲気を感じて貴重な体験でした。

## 夏野菜

高松地方気象台は8日、四国地方が梅雨明けしたとみられると発表しました。平年より10日、昨年より9日早いようです。

梅雨入りが5月26日と統計開始後で5番目に早く、台風の影響を受けたことなどから、梅雨期間中の雨量

は高松で448.0ミリと平年の2.1倍だったそうです。異常気象とも言える梅雨時期でしたが、7月に沢山雨が降ってくれたおかげで夏野菜のトマトやきゅうり、トウモロコシ等順調に育ち収穫の時期を迎えました。今年にはトマトの生長が特に良く、大きく鮮やかな赤色のトマトが沢山収穫出来ています。原発問題で全国民が震えあがる事態が続いています。畑を最大限に有効活用し、食の安全を確保したいです。



甘くておいしい無農薬トマト

## 摘果みかん

毎年中秋の名月に行われる喝破道場の恒例行事「報恩月見茶会」。そのお茶席で欠かせないのが摘果みかんの砂糖煮の御菓子です。

このお菓子は大人気で購入したいと言う人が沢山いらっしゃいます。

摘果とはみかんの木に実が沢山なりすぎると、美味しいみかんが出来ないので、まだ青いみかんを間引き捨てるのですが、この捨てられたみかんの事を摘果みかんと言います。

しっかりと濃緑色で、大分みかんの果実らしくなってきた7月が摘果の時期です。



見るからにすっぱそうなみかんです。

に摘果みかんを分けてもらいに行きました。

御菓子用で約1千個拾う予定でしたが半分足らずの収穫量でした。

山下さんは約1千本のみかんの木を奥様と二人で管理しているらしく、毎年摘果作業が大変と話をしています。

毎年みかんを頂くだけでは申し訳ないと思い「農業体験と言っ形で塾生

の皆にも摘果作業を手伝わしてくれませんか？」と話をすると快く引き受けてくれました。

後日塾生の皆と作業を手伝わせて頂きました。

皆もちろん始めての体験のみかんの良い香りに包まれながら作業をしました。

また、みかんの収穫時期である1月～2月にも手伝わして頂けると言うことになりました。

漁師の高橋さんにはワカメや昆布の農業体験をさせて頂いています。

これからも様々な職種の体験が出来る場を増やしていければと思います。

今回は本当に貴重な良い経験ができました。山下さん快く農業体験の場を提供して頂きありがとうございます。



作業方法の指導を受けます。

### 五色台ハーブ祭り



花々が満開のハーブ園

7月1日から31日までハーブ園開園一周年記念イベントとして『五色台ハーブ祭り』を開催しました。イベント内容は7月未までの平日にご来園のお客様1団体ごとにハーブ苗をプレゼントしたり、7月10日(日)14時～ハーブティー利き味大会、7月16日(土)15時～サヌカイトコンサートを開催しました。イベント開催にあたり新聞社、地方雑誌、テレビ局に取材依頼をしてイベントを告知いたしました。大反響とまではいきませんが、新聞を見た、テレビを見た等でお客様が足を運んでくれましたが、それでもまだまだPR不足です。五色台で育つ香り美しいハーブと触れ合い癒される空間を多くの方々に知っていただきたいと思えます。

秋には山の木々の紅葉と秋に咲くハーブの花々があります。皆様のご来園を心よりお待ちしております。

### ブルーベリー畑

ブルーベリーを育てて今年で3年目になります。

小さかった苗木も一回り大きく成長しました。梅雨で雑草が伸び放題でしたので塾生の皆と除草し手入れをし直しました。

7月に入り収穫の時期を迎えました。沢山の実を付けていることから昨年の倍の収穫量が期待できますが、道場の生計を支えるにはまだまだ先の話です。野菜畑、ハーブ園、ブルーベリー畑と沢山の畑を抱えると、どうしても手が疎かになってしまいますが、どの畑も手を抜く事無くしっかりと育てて行きたいです。



沢山の実を付けています。

# ローズマリーの丘だより その四 精神疾患とハープ



ローズマリーの定植

A子さんはB国立大の数学科を卒  
た才媛で、公務員として勤務してい  
たこともあるが、長らく統合失調症  
(旧の精神分裂症)で入院を繰り返  
し、縁あって喝破道場に入山。  
と言っても喝破道場で生活すると  
急に症状が好転する訳ではない。  
朝、起きて来ないので女子職員が  
声を掛けるが応答なし…。もしま  
と部屋に入ると枕元に薬の空き袋が  
散乱していて大量服薬で昏睡状態。  
急遽掛かり付けの精神科医に電話  
して指示を仰いで、飲んだ薬名と数  
量を報告すると「精神薬は大量に飲  
んでも死ねないので暫く様子を見る  
ように」とのこと。  
昼前に目を覚ましてくれて事なき  
を得たが、アル中患者や精神疾患な  
ど様々な症状を有する不特定な方達

を受け入れるには受け入れ態勢と不慮の事態が起きたの覚悟が必要で  
す。

本音のところは問題を抱えた人達の受け入れはお断りしたいのですが、当事者も家族も困り果てて行き場を失っている状況を知ってしまつとお断り出来なくて受け入れてしまつたのです。その大きな決断は「ご本尊のお薬師様が助けて下さり、必ず回復する」と言う暗示めいたもの  
他なりません。

回復した彼女はその後も躁鬱状態を繰り返していましたが、ある時にセントジョーンズワートをテイにしたので彼女に勧めました。  
セントジョーンズワートはアメリカの精神科系研究所で研究している精神科医が「喝破道場で栽培してみないか」と云う事から試験的に植えたものです。

彼女は「薬でも効かないのにハープでよくなる筈がない…」などと言つてましたが、勧めるままにコップで一杯飲みました。  
暫くすると「和尚様、何だかこのハープ効いてきた感じ…」と言うのです。彼女はとても陽気になりペラペラと喋り始め、二時間強ほど喋つてから言いました。  
「和尚様、私疲れました…」  
誰だつて二時間も喋れば疲れるけど、聞いている方はもっと疲れまし  
た。是つてハープ効果？

《次回に続く》

## 音 信

財団法人 喝破道場  
理事長 野田大燈殿

愛媛県 H・M

拝啓、私、先般のH県におきまして開催されました、講演会に参加させて頂きました者で、H・Mと申します。

その節は非常に有意義なお話を拝聴いたし感銘した次第であります。

さて、私は現在60歳でありまして、未だ職に就けない次男をかかえておるものでございます。妻も現在58歳で来年度には定年を迎える予定  
です。そのような事ではなはだ焦つておる次第です。

次男は現在27歳ですが、様々な職に就きましたにもかかわらず何一つ長続きしません。高校中退した後世間でいわれるいろんな悪事をはたらいてまいり、シンナーを吸つたり刺青を自分で入れたり、又消費者金融に借金をしたりしてきました。(現在、その借金は親である私が払つて  
いる)

そのような息子も高校中退後すぐ知り合いの紹介で仕事に就きました。1年程続いたと思いますが、やめてしまいました。その後鉄工所に就職しましたがパワーハラスメントに遭い鬱と思われる症状が現れ、現在治療中ではありますが、その後転職を繰り返すごとに雷恐怖症、広場

恐怖症、統合失調症と思しき症状も出るようになりました。

しかしその様な症状があるにも拘らず、相変わらず鬱の治療しか受けていません。親としては早いうちにちゃんとした診断を下していただき治療させたいのですが、本人は医者嫌い、薬嫌いがあり受診しようとしません。私たち夫婦も年ですし、早いうちに解決と申しますか、光明を見出したい気持ちでいっぱいです。

現在私は定年後再就職をいたし(寮の管理人で月12万ほどの給料をもらつています)年金とあわせ20万ほどの収入でやっております。妻の収入とあわせ、何とかやれておりますが、あと何年働けるか不安な気持ちでいっぱいでありませぬ。

そんな状況の中で講演会に参加させていただき非常に感銘いたし、これだ!と思ひ息子に参加を勧めましたところ、あっさり断られました。尻込みしているようです。藁にもすがる思いであります。何か打開策があればとご相談させていただきました。筆をとりました。

取り留めのない文章でお忙しい中まことに申し訳ありませんが、何かアドバイスをお願いできたらと思ひます。どうか宜しくお願いいたします。

敬具

追伸 次男にも長所もあり、IT関連には興味もあるようで教材も見  
ずに何でもこなしているようです。

# 布箱の中で

安部麗子

森の中に煉瓦作りの小さな家があります。

この家の中で、一番大きな部屋は、洋裁道具でいっぱいです。

まるで、小さな倉庫のようです。

ミシンやタンク付きのアイロン、人台、大きな作業机、ハギレの入った

たくさんの段ボール箱、その片隅に、フタ付きの木の衣装ケースがあります。

この家の奥様が、一番大事にしている布箱です。

布箱の中には、たくさんのお気に入りの布地が、キチンと重ねられて、出番をまっています。

奥様がフタを開けて、ドレスを作るために、一枚の布を選ぶとき、布たちは今度は自分の番じゃないかと、息を殺して待っているのです。

昭和二十年、太平洋戦争が終わったとき、奥様は五歳でした。

ラジオがガーガーいって、おばあ様やお母様が泣いていたのを覚えています。

でも、間もなくみんな元気になり、裏山の開墾に取りかかりました。子供たちも畑について行きました。

雨の日は、おばあ様は編み物を、お母様は自分たちの着物をほどこいて、子供たちの洋服を作ります。

お母様は、近所の若い娘さんたちに頼まれて、くるりと回ると朝顔のように広がる、奇麗なスカートに縫ってあげました。とても和服から出来たとは思えません。娘さんたちは、そのスカートをはいて、進駐軍のアメリカ人とダンスを踊るので

す。そんなつてがあったので、この家には早いうちから、足踏み式ミシンがありました。

少しづつ世の中が落ちていくにつれて、食料品ばかりでなく、着るものも手に入るようになりまし

た。それでもまだまだ布地は高価で、庶民には手が届きません。

そんなとき、町の縫製工場で、ハギレの大売り出しがありました。

近郷近在の主婦や娘さんが、我先にと福袋のような包みを買求め

す。ちょうど日曜日だったので、子供たちも動員されて、行列に並びました。

奥様は、この日の嬉しさを今でも覚えて

います。中には、ワンピースの出来そうな大きな布や、小さなハギレや、レースの切れ端、テープ、ゴムひもなど、女の人が好きそうなものがたくさん入っている、まさに夢の包みでした。

お母様の見よう見まねで、お人形の服や、巾着袋や、ウエストにゴムひもを通したスカートなどを縫っていた少女は、いつの間にか洋裁が大好きになりました。女学校を卒業すると、迷わず洋裁学校の生徒になりました。

やがて、縁あって郵便局の職員と結婚しました。

奥様は頼まれた縫い物をしたり、近所の娘さんたちに洋裁を教えたりしました。二人で一生涯懸命働いて、町外れの森の中に、小さな煉瓦作りの家を建てたのです。

子供たちが生まれると、なるべく可愛く見えるように、いろいろ工夫して子供服を作ったものでした。でも、時代が変わって、既製服が自由に買えるようになると、子供たちは、だんだん手作りの服を喜ばなくなってしまう

ました。その頃、ご主人が心臓発作で急死したので、その後は洋裁の仕事だけ子供たちを育て上げたのでした。

いつの間にか、気に入った布地を自分のためにコレクションして

ました。ロウシルクという、素朴な布は、黄色、ブルー、グレーの三色があります。

ページユの古いレース。真っ白な麻。

紺地に白のピンドット。おなじく

白地に紺のピンドット。ページユと茶のギンガムチェック。上の方には、タナローンと言う、高級な綿のプリントが何枚も重ねられています。

タナローンたちは、自分たちは身分が違うのだと思っていますから、いつか、本当にオシャレな服が必要になるまでは、選ばれなくてもいいのだと言っています。

そんな態度が気に入らないというので、時々布箱の中では険悪な言い争いが起こるのですが、勿論人間の耳には届きません。

布箱が開けられなくなつて、何年もたち、布たちが諦めた頃、突然ふたが開きました。

そこに見えたのは、すっかり年を取った弱々しい奥様と、今はそれぞれ中年太りした、昔の生徒さんたちです。

奥様は、明日、施設に入るので。一人一人に似合いそうな布地を見立てて渡します。みんなはショボンとして受け取りましたが、その内昔のように冗談を言ったり、笑ったりしながら、家の中を片付け始め

ます。夕方、施設の手が奥様を連れて行ってしまつと、生徒たちは一人一人、いただいた布地を大切に持って、それぞれの家庭に帰って行ったのでした。

了

# 音信

前略  
蒸し暑い日が続きますが、体調を崩さぬようお身体を「ご自愛下さい」。  
さて、四国遍路の際はお世話になりました。

また、貴重な体験をさせて頂き、本当にありがとうございました。法友が何度も勧めてくれた訳がよく分かりました。ご住職様にはゆつくりとお話を聞かせて頂くことはできませんでしたが、朝の坐禅会での遍路体験のお話は胸に染み入り、涙がでてきました。お陰様で、六月十七日（金）に無事結願させて頂くことができました。

家に帰るとすぐに（翌日）近くの観音堂（普段念佛道場として修養している弘龍庵奥ノ院）にお参りし、四国遍路のお礼とともに、これからの心構えを教えて頂きたくおみくじをひきました。その内容は、「心にこだわりをつけるな、流水に字を書くような生活、此の身は風前の灯火。」というものでした。正に坐禅会で聴かせて頂いた内容そのものでしたので、本当にありがたく、大きなお宝を授かったように感じました。「こだわりのない生活」四国遍路で学んだことを、日々の生活に活かせるよう努力したいと思えます。再びお目にかかる機械に恵まれます。

たら、ぜひご指導頂けますようお願い申し上げます。  
道場のみなさまにも、どうぞよろしくお伝えくださいますよう御願ひ申し上げます。本当にありがたうございました。

和歌山県 合掌 T・H

## 音信

皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
先日の施設実習におきましては、お忙しいところ園長先生による講話をしていただき、誠にありがとうございました。

四恩を教えていただき、私達が生きていく上でどんな恩を受けているのか知り、日頃から周りの人や物に対して感謝するようになりました。  
「四摂法」福祉の心についても教えていただき、保育・教育をしていく中で、私に何が出来るのか、何をすればいいのか考えることが出来ました。

実際に子どもたちとふれあい、生活を共にしてみてもコミュニケーションをとる事の難しさや、感情を上手に表すことの出来ない子の気持ちを考える難しさを学びました。

職員の方々の子どもとの関わり方や声かけや援助を見て、とても勉強になりました。

実習中は私達に至らない点が多く、何かとご迷惑をかけたのではないかと思います。とても充実した2週間を過ごす事が出来ました。  
今後、この施設実習で得た経験を毎日の勉強、そして、保育所・幼稚園に勤めるようになってから活かして頑張っていきたいと思えます。  
施設実習中は大変お世話になりました。末筆ながら、若竹学園の皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。

平成二十三年七月一日

香川県 K・Y R・T 敬具



大阪府 山口 近香様

**御寄附一覧**

- 一、枇杷とブルーベリー  
高松市内 真鍋 彰男様
- 一、お菓子  
香川県丸亀市 田岡 光代様
- 一、冷菓「くづ餅」  
香川県仲多度郡 高橋 弥生様
- 一、ジューズ類  
香川県綾歌郡 南隆寺
- 一、カルピス  
千葉県木更津市 妙泉寺
- 一、お菓子  
香川県丸亀市 佐藤 陽一様
- 一、洗剤セツト  
高松市内 河西 和江様
- 一、ハムセツト  
大阪府東大阪市 赤坂 為雄様
- 一、お米・副食品・タオル  
兵庫県神戸市 三戸岡 秀樹様
- 一、冷菓・ぶどう等  
愛媛県松山市 法龍寺 様
- 一、ぶどう沢山  
大阪府交野市 栗田 良則様
- 一、薬石一式(調理済み)  
高知県安芸市 伊藤 正賢様
- 一、冷菓  
神奈川県横浜市 鎌田 松栄様
- 一、さくらんぼ沢山  
山形県上山市 齋藤 繁子様

一、三輪ソーマン  
東京都新宿区

ユーキャン  
出版事業部様

多くの方々に  
感謝いたします。  
ありがとうございました。

**ハーブ化粧水を販売!**

道場内の倉庫を改造した、「香り研究所」が完成しました。  
そこで、ローズマリーのハーブウォーター蒸留を蒸留器メーカー指導のもとに実施して成功しました。

当面は喝破会の会員様対象のみでの販売と致しますので、従来のハーブティ「禅ハーブ」の姉妹品としてご購入、そしてご吹聴のほどお願い申し上げます。

**喝破会会員価格**

二〇〇ml 一、五〇〇円  
(送料別)



**禅ハーブティー**

上 禅ハーブ オリジナル  
下 セントジョンズワート入り



**シングルシリーズ続々登場。お好みのハーブティーをお選び下さい。**

- レモングラス 10g入り
- ジャーマンカモマイル 10g入り
- セントジョンズワート 10g入り
- ペパーミント 3g入り
- スペアミント 3g入り
- ローズマリー 10g入り
- レモンバーベナ 3g入り

申し込みは左記までお願いします  
TEL (087) 88214022  
公益財団法人 喝破道場  
ご注文をスタッフ一同お待ちしております。

二〇袋以上お買いあげの方は送料を無料とさせていただきます。

**おいしいハーブティーの入れ方**

ティーポット、カップをあたためておきます。  
ハーブを、ティースプーンに軽く山盛り一杯をティーポットに入れます。  
ティーポットに熱湯約一八〇ccを注ぎます。  
約3分を目安に、色や香りが出たころカップに注いでください。  
おいしいハーブティーの出来上がりです。是非お試しください。

**新刊本「平常心是道」(大燈監修)**

各書店でお求め下さい

マイコミ新書より前サッカー日本代表岡田武史監督推薦として出版されました。

定価七八〇円です。喝破道場では扱っておりませんので全国の書店でお求めください。

なお、印税は喝破道場の活動資金として使用させていただきます。



# 七月の日鑑

- 2 若竹学園「夏祭り」  
於 学園園庭
- 3 「協同ネットワークかがわ」設立発起人総会 於大日本社員食堂
- 6 児童相談所と亀山学園の連絡会  
於 亀山学園
- 7 曹洞宗社会福祉連盟職員研修会 於 大本山総持寺
- 8 薬師講  
児童相談所と若竹学園の連絡会  
於 若竹学園
- 14 亀山学園「夏祭り」  
於 学園園庭
- 15 山王小祭  
当法人役員大坂靖彦氏「ドイツ連邦共和国功労勲章十字小綬章」授賞式に役員代表として随喜 於東京 ドイツ大使館
- 25 曹洞宗四国管区「青少年教化指導者研修会」出講 於 香川県小豆島「はまや」
- 25 若竹学園サマ キャンプ  
於坂出市 沙弥島
- 26 大庫院大改修工事完了  
「香川少年友の会」視察来山
- 2 倉敷市児島地区青少年指導委員連絡会視察研修来山  
円通寺坐禅会 於円通寺

## 八月の予定

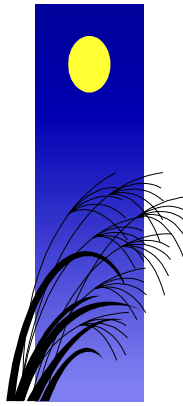
- 8 薬師講
- 10 平成23年度全国情緒障害児短期治療施設職員研修会 於京都 西本願寺会館
- 11 山王小祭
- 15 円通寺坐禅会 於円通寺
- 16 高松市女木町高齢者教室講演  
於女木町コミュニティホール
- 17 福山市 小林寺施食会法話で出講 於小林寺
- 21 徳島市弁護士会が自立援助ホーム視察来所 於「なごみハウス」
- 29 徳島市弁護士会が自立援助ホーム視察来所 於「なごみハウス」

**第三十三回  
月見茶会のご案内**

日時 九月十日(土)  
午後六時より

場所 喝破道場「茶庭」

**公益財団法人「喝破道場」としての  
東日本大震災への活動報告**



「随流荘」の被災者受け入れ表明(三〇名)  
被災地慰問に道場の大型バス提供  
ハーブ喫茶「ゼルコバ」に募金箱設置

**「喝破会」と  
機関紙購読会員募集中**

「喝破会」会員、又は「四恩の里」購読会員を募集しています。  
喝破道場は正に公益法人に相応しい様々な活動を行なっております。  
その法人運営支援のためにご援助を下さい。  
《年間会費》  
「喝破会会員」一〇、〇〇〇円  
購読会費 五、〇〇〇円

**太鼓指導ボランティア募集**

学園では今まで太鼓の指導をしていた職員が亀山学園園長として栄転のため、外部からのボランティア太鼓指導者を求めています。

**ハーブコーディネーターの方**

ハーブ園では現在約百種類程度のハーブが植栽されており、更に今後は約一、五〇〇坪の土地全体にローズマリーを栽培し「ローズマリーの丘」として観光地化予定です。

特にローズマリーは、若返りのハーブとして知られていますが、将来は特にハーブウオーターを精製して販売し、卒業生自立の一助に、と考えています。  
どなたかハーブ全般の指導をして頂けるハーブコーディネーターの方ご紹介下さい。

## 編集後記

暑中お見舞い申し上げます。  
暑い暑い夏はまだ始まったばかりです。皆様くれぐれもご自愛くださいませ。  
7月25日～27日までの3泊4日で曹洞宗の四国管区教化センターが主催する「子供禅の集い」に参加してきました。  
夏休みの子供達を対象にした禅体験で四国各地の子供達約50名が参加しました。昨年からは曹洞宗青少年教化委員の任命を受け今年で2度目の子供禅の集いです。  
対象は小学生から中学生で元気がに疲れました。  
一緒に参加したお寺の住職さんや若い副住職さん達と話をする機会があり様々な話をした中で、一人の副住職さんは、檀家さんの高齢化や檀家離れ等で自分のお寺は10年先、生活も厳しい状態になると思っている、と深刻そうに話してくださいました。  
今回の子供禅の集いに参加することで自坊の新たな可能性を模索できればと思い参加を決意したみたいですね。  
近い将来、檀家制度の崩壊が言われている昨今。仏教界が激変し生き残るお寺は先を見通すことのできるお寺だけでしょう。

大然記